

# 2019 北いわての魅力伝える広報誌 北いわて最前線



県北広域振興局

## P.2 特集1

岩手で暮らし、働く  
私たちの未来の姿を描く

## いわて県民計画 (2019~2028)と これからの県北地域



## P.4 特集2

## たくさんの思い出をつくろう！ 親子で遊べる 春のわくわく お出かけスポット

岩手県では、2019年6月1日(土)から8月7日(水)まで、沿岸13市町村を会場に「三陸防災復興プロジェクト2019」を開催します。右に挙げているのは県北地域で開催される事業の一部で、その他は同プロジェクトの公式ホームページで紹介しています。様々なイベントが開催されますので、ぜひ足を運んでみてください。

## P.6 県北広域トピックス 2019

復興に取り組みながら、  
お互いに幸福を守り育てる  
希望郷いわて



## P.8 復興特集

## 163kmの 「三陸鉄道リアス線」が 誕生します！

[アンケート & 読者プレゼント]



## 復興特集 163kmの「三陸鉄道リアス線」が誕生します！



三陸鉄道は、1984年に南リアス線(盛一釜石間)と北リアス線(宮古一久慈間)を運行する鉄道として開業しました。東日本大震災の津波で被災しましたが、2014年4月に、南リアス線と北リアス線の全線で運行を再開しています。

そして、3月23日には、JR山田線(宮古一釜石間)の復旧・三陸鉄道への移管にともない、南リアス線と北リアス線が一本化した「リアス線」として生まれ変わります。盛駅から久慈駅までの全線163kmという長さには、第3セクターの鉄道としては全国一の長さとなります。

このリアス線の誕生により、宮古一釜石間には従来のJR山田線の駅のほかに、豊間根一津軽石間に弘川駅が、津軽石一磯鶏間に八

木沢・宮古短大駅が新設されます。現在は南リアス線が10駅、北リアス線が17駅、従来のJR山田線が11駅であり、新しいリアス線は二つの新駅を加えた全40駅となります。

また、同区間の運行列車はJR山田線時代と比べると、区間列車を含め3本が増発されます。他の区間でも増発や始発駅・終着駅の延長などダイヤが変更され、「地域の足」としてより便利になります。

さらに、盛一久慈間の163kmを結ぶ直通列車のほか、盛一宮古間、久慈一釜石間の直通列車が運行されますので、乗り換えなしで旅行や買い物などが楽しめます。

開通日の3月23日は釜石一宮古間で記念列車を4往復し、翌24日から営業運転を開始します。

**三陸鉄道株式会社**  
代表取締役社長 中村 一郎氏

東日本大震災後の8年間、宮古一釜石間のJR山田線は不通でしたので、沿線の地域の皆さんは運行を心待ちにされていました。それだけに、当社も今回の開通を非常にうれしく思います。

また、久慈から大船渡まで一本につながることで、これまで以上に三陸沿岸の市町村をつなげる役割を果たしていくつもりです。さらに復興を進める意味でも、外から人を呼び込んで地域復興を図りたいと考えています。

このリアス線の開通を新たなスタートとし、地域の皆さんに利用してもらい支えてもらいながら、当社も地域へのさらなる貢献を目指していきます。

## 三陸防災復興プロジェクト2019

- 三陸ステーションガーデンプロジェクト**  
プロジェクト会期中に、三陸鉄道の駅舎(久慈駅、宮古駅)をガーデンで飾ったり、野田村十府ヶ浦公園にシバザクラを植栽するなど、地域との協働により、三陸鉄道を花と緑で彩ります。
- 三陸ジパーク フォトゲイニングフェスティバル**  
三陸沿岸地域のチェックポイントを時間内に回り、得点を集めるスポーツイベントです。県北地域では野田村と普代村を会場とし、7月6日(土)に開催します。
- 三陸鉄道一貫運行記念「三陸横断夜行列車」**  
盛駅から久慈駅まで163キロを夜通し走る夜行列車を運行します。運行は7月20日(土)~21日(日)、27日(土)~28日(日)の2本で、どちらも盛駅発、久慈駅着です。
- さんりく音楽祭 2019**  
世界的な音楽家である佐渡裕氏とスーパーキッズ・オーケストラによるコンサートが行われます。県北エリアでは8月3日(土)に久慈市、8月4日(日)に洋野町(スーパーキッズ・オーケストラのみ)で開催します。

## 読者プレゼント アンケートにお答えいただいた方の中から、抽選で10名様にプレゼント!!

**ビーフカレーセット6食入り**  
短角牛カレー×3(甘口・中辛・辛口 各味1個)  
黒毛和牛カレー×3(甘口・中辛・辛口 各味1個)  
内容量200g/レトルト  
有限会社 田村牧場(久慈市)

【短角牛カレー】短角牛の赤身肉には旨味成分がたっぷり。じっくり煮込んだ柔らかい角切り肉がゴロゴロ入り、短角牛の旨みがルーでもしっかり楽しめます。  
【黒毛和牛カレー】黒毛和牛でも脂のしつこくない部位を使用、霜降りが苦手な方にもおすすめ。お肉の甘さと風味を生かした、スパイシーさが特徴のカレーです。

応募方法  
[送り先] はがき 〒028-8042 久慈市八日町1-1  
県北広域振興局「北いわて最前線アンケート」係  
FAX 0194-53-1720 電子メール BK0001@pref.iwate.jp  
[締切] 平成31年4月12日(金) 消印有効

※ 回答は、右の二次元バーコードを読み込んで応募フォームからご応募ください。なお、はがき・FAXでもご応募いただけますので、住所・氏名・年齢・性別・電話番号をお書きの上、お送りください。

具体的な推進方策

1. 多様な交流・連携により地域コミュニティを活性化します
2. 文化芸術・スポーツの持つ力を地域活性化へとつなげていきます
- 3-1. 地域における医療体制を整え、心身の健康づくりと地域で支え合う福祉の環境をつくります(保健・医療分野)
- 3-2. 地域における医療体制を整え、心身の健康づくりと地域で支え合う福祉の環境をつくります(介護・福祉分野)



隣接する圏域等とのつながりを生かし、一人ひとりが健康で心豊かに暮らせる地域

県央圏域や八戸圏域などとの交流・連携による地域活性化や、地域に根ざした文化芸術やスポーツの振興を図るとともに、東日本大震災津波の被災者のこころのケアと健康づくりの支援や、保健・医療・介護・福祉の連携により、子どもから高齢者まで、病気や障がいなどの有無に関わらず、安心して健やかに暮らせる環境づくりを進めます。

具体的な推進方策

4. 災害に強い社会基盤を整えます
5. 新しい交通ネットワークを中心に、地域経済や暮らしを支える社会基盤を整えます
6. 環境を守り育てる人材を育成し、多様な主体との協働を進めながら、良好な自然環境を守ります
7. 豊富な再生可能エネルギー資源を生かした持続可能な地域づくりに取り組みます



自然豊かで再生可能エネルギーを生かした災害に強い地域

東日本大震災津波により被災した施設の復旧・整備を推進し、地震津波などへの対策を強化するとともに、物流の効率化や圏域内外への交流拡大、生産性の向上を支える社会基盤の整備を進めます。

また、良好な自然環境を保全し、豊かな自然と共生しながら、太陽光、風力、バイオマスなどの豊富な再生可能エネルギー資源を生かした持続可能な地域づくりに取り組めます。

# 県北広域振興圏の地域振興の取組

いわて県民計画(2019~2028)のもとで、私たちが暮らす北いわてはどんな地域を目指し、活性化を図っていくことになるのでしょうか。目標と、その実現に向けた具体的な取組の方向性を紹介します。

## 県北地域の豊富な再生可能エネルギー資源

私たちがふだんエネルギー源として使っている石油や石炭などの化石燃料は、量に限りがあります。それに対し、太陽光(熱)や風力、バイオマス(木材、家畜のふん尿、生ゴミなど、化石燃料以外の動植物由来するもの)など、自然の力で常に補充されるエネルギー資源や、利用する以上の速度で再生するエネルギー資源を利用するのが「再生可能エネルギー」です。これらは、地球温暖化の要因である温室効果ガスを排出せず、日本国内でも生産できることから、導入・普及が進められています。

県北地域には、気候や地形などの特性を生かした豊富な再生可能エネルギーがあります。例えば、久慈市・軽米町などでの太陽光発電、一戸町・二戸市・洋野町などの風力発電、野田村・軽米町などでのバイオマス発電です。

### Interview

## 「再生可能エネルギーの地産地消」に取り組む

久慈地域エネルギー㈱



営業部長 勝田 雅幸氏  
取締役 若林 治男氏

当社は、太陽光を中心として、久慈市内で発電される電源を確保して市内に供給する「再生可能エネルギーの地産地消」を目指し、久慈市と市内の民間企業5社が設立した自治体新電力会社です。再生可能エネルギーによる電力の普及は、災害時の事業継続や大規模停電の回避、地域内経済循環などにつながります。そのため、現在、電力の供給先は三陸鉄道久慈駅など市内の施設ですが、今後は一般家庭にも広げていきたいと考えています。また、当社では事業の収益を子育て支援などで地域に還元することで、事業を通じて、人口増加や雇用拡大など地域活性化にも取り組んでいます。

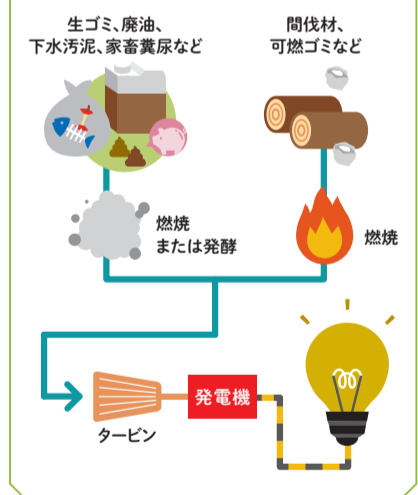
## こくつうコラム

### 「最近バイオマス発電ってよく聞けど、どういう仕組み？」

バイオマス発電は、食品廃棄物や木質廃材、家畜の排泄物などの有機ゴミを直接燃焼して、発生する熱を利用して蒸気でタービンを回す仕組みなんだ。



### バイオマス発電の基本的な仕組み



具体的な推進方策

8. 北いわての農畜産物のブランドを確立し、多様なスタイルでいきいきと暮らせる農村をつくります
9. 地域材や特産品産物の生産体制の強化と需要拡大に取り組みます
10. 担い手の確保・育成や漁業生産量の回復・向上を進めます
11. 北いわての魅力ある食材を生かした食産業を盛んにします
12. アパレル産業など高い技術力を有するものづくり産業を盛んにします
13. 隣接圏域等と連携した広域観光を進めます
14. 雇用環境の改善と若年者などの就業支援を進めます



誇れる北いわての地域資源を生かした産業が展開し、意欲を持って働ける地域

地域の中核となる経営体の育成や担い手の確保・育成、農林水産物の生産性向上やブランド化などによる高付加価値化と販路拡大の取組を進めるとともに、地域の特性を生かした体験・交流型観光や食産業振興の取組を進めます。

また、産学官が連携した企業支援を展開し、アパレルなど特徴的な産業の認知度向上やものづくりを担う人材の育成を進めるとともに、県や市町村などの関係機関が一体となってキャリア教育に取り組み、若者の地元就職を促進します。

# 特集1 岩手で暮らし、働く 私たちの未来の姿を描く

## いわて県民計画(2019~2028)とこれからの県北地域

岩手県では、昭和39年(1964年)から現在まで切れ目なく「総合計画」をつくっています。総合計画とは、どのような方向性で県政を進め、目標を達成するために具体的にどのようなことに取り組んでいくかをまとめたものです。これは県民や企業、NPOなどすべての個人や団体にとって、今後岩手で暮らし、働いていくうえでの方向性・未来像にもなることからとても重要です。ここでは、現在策定に向けて取り組んでいる2019年度から10年間の総合計画である「いわて県民計画(2019~2028)」について、「こくつう」がわかりやすく説明します。

### いわて県民計画(2019~2028)の構成

長期ビジョン	長期的な岩手の将来を展望し、県民みんなで目指す将来像と、その実現に向けて取り組む政策の基本方向を明らかにするものです。
アクションプラン	長期ビジョンの実効性を確保するために、重点的・優先的に取り組むべき政策やその具体的な推進方策を盛り込んだものです。 第1期 2019年度~2022年度 復興推進プラン 政策推進プラン 地域振興プラン 行政経営プラン

年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028
長期ビジョン(10)	第2期以降の「復興推進プラン」の取扱いは、今後の復興の状況を踏まえながら検討									
復興推進プラン(4)	政策推進プラン(4)				政策推進プラン(4)			政策推進プラン(2)		
政策推進プラン(4)	地域振興プラン(4)				地域振興プラン(4)			地域振興プラン(2)		
地域振興プラン(4)	行政経営プラン(4)				行政経営プラン(4)			行政経営プラン(2)		
行政経営プラン(4)	( )内は期間年数									

この計画では、次の基本目標を掲げ、全ての県民が希望を持つことのできる「希望郷いわて」の実現を目指してまいります。

東日本大震災津波の経験に基づき、引き続き復興に取り組みながら、お互いに幸福を守り育てる希望郷いわて

### 総合計画ってどうして必要なの? どんな役割があるの?

総合計画は、県民一人ひとりや企業、NPOなどあらゆる個人・団体が、岩手のあるべき姿に向かって今後10年間に何をすべきかを考え、行動していくために必要なものだ。また、時代の潮流や、復興も見据えた岩手の特性・可能性を踏まえながら、今後10年間の県の政策推進の方向や具体的な取組内容を示す役割も果たしているんだ。

### どんな内容なの?

計画では「幸福」をキーワードに、岩手が持つ多様な豊かさやつながりなどにも着目し、岩手の将来像を描いていく。計画期間は2019年度から2028年度までの10年間で、10年間の「長期ビジョン」と、マニフェスト・サイクル※を考慮した「アクションプラン」による構成になっているんだ。「長期ビジョン」「アクションプラン」それぞれの内容や想定される計画期間は、上の表のとおりだよ。そのうち「アクションプラン」については、社会経済情勢の変化や、計画の進捗状況などを踏まえ、必要に応じて、内容を見直すなど、弾力的に対応していくよ。

### これからの復興の取組はどうなっていくの?

いわて県民計画(2019~2028)においても、岩手県東日本大震災津波復興計画の基本方針に掲げた二つの原則※を引き継ぎ、復興の取組を明確に位置付け、市町村や国と一体となった切れ目のない取組を進めていくよ。

※マニフェスト・サイクルとは  
選挙公約である「マニフェスト」を基本に、行政計画を策定・実施し、その政策の評価を踏まえ、新たなマニフェストを作成し、有権者の審判を受ける一連の流れです。

※二つの原則  
・被災者の人間らしい「暮らし」「学び」「仕事」を確保し、一人ひとりの幸福追求権を保障する。  
・犠牲者の故郷への思いを継承する。

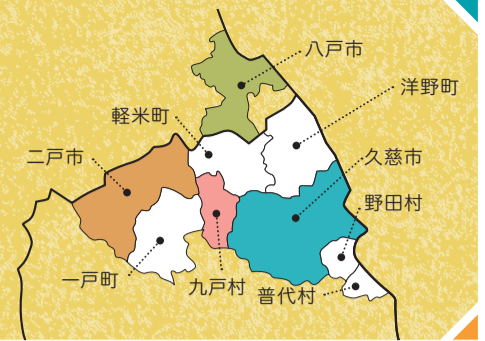
たくさんの思い出をつくろう！

特集2

# 親子で遊べる 春のわくわく

# お出かけスポット

春になって暖かくなると、気分も軽やかになって、お出かけもますます楽しくなってきますよね。東北地域はもちろん、少し足を伸ばして青森県八戸市まで、様々な世代が楽しめる、この春おすすめのお出かけスポットを紹介します。



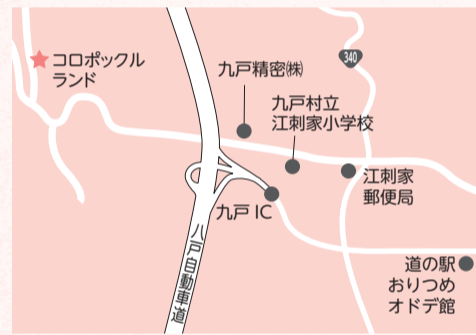
子どもがのびのびと遊べる道具がたくさん



BMXとは  
自転車で行う  
モトクロス競技  
のこと!

## コロポックルランド

岩手県九戸郡九戸村江刺家9-81 ☎0195-42-4062  
園4月～11月頃(予定)の土日祝日(7月中旬～8月中旬は毎日営業) 園入料: 一般300円/中学生・小学生150円、ツリーハウス: 一泊3,000円/日帰り1,000円、テントサイト: 一泊500円、マウンテンバイク: 4時間まで500円(延長1時間ごとに200円)



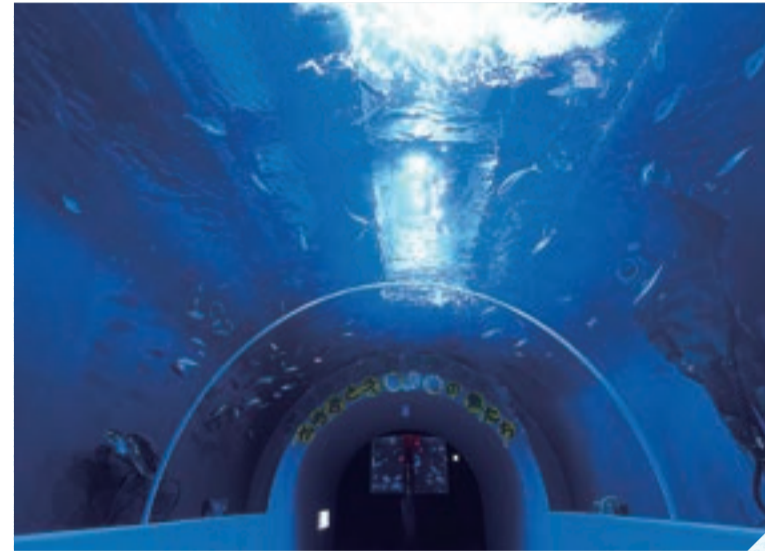
交流促進センター内の大浴場で疲れを癒すことができます



大人も子どももわくわくするかわいいツリーハウス

## 九戸村 コロポックル ランド

折爪岳のふもとに整備された、様々なアウトドア体験ができる野外施設です。美しいカラマツ林の中にあるキャンプ場には炊事場や野外ステーションがあり、大人数のグループでの利用にもぴったりです。そのほか、とんがり屋根のツリーハウスが9棟あり、宿泊することもできます。ツリーハウスの下にはテーブルセットが備え付けられ、バーベキューなどが楽しめるスペースになっています。



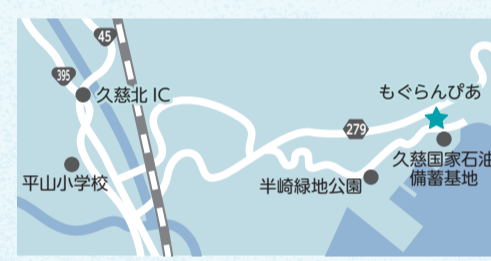
三種・久慈の魚が泳ぐトンネル水槽



魚にエサをあげる体験ができる「ふれあい水槽」

## 久慈地下水族科学館もぐらびあ

岩手県久慈市侍浜町妻生1-43-7 ☎0194-75-3551  
園4～10月 9:00-18:00/11～3月 10:00-16:00(最終入館は30分前まで) 園月曜日(祝日の場合は翌日)、臨時閉館あり(要問い合わせ)  
園一般700円/学生・高校生500円/中学生・小学生300円



土・日・祝の素潜り  
実演で海女さんに  
会えるよ



ナマコやヒトデなどの生き物にタッチ

ファン必見の  
さかなクンコーナー

## 見応えある展示で海の世界を紹介 久慈市 久慈地下 水族科学館 もぐらびあ

趣向を凝らした展示で、三陸や世界の海を体感できる見どころ満載の水族館です。アオウミガメの「かめ吉」が泳ぐトンネル水槽や、海の生き物と触れ合えるタッチプール、水槽に直接手を入れてエサやり体験ができる「ふれあい水槽」などが人気です。さらに、館内には、「さかなクン」が描いたイラストが散りばめられています。また、土日祝日には、北限の海女や南部潜りの実演が行われ、水槽内の海女やダイバーとのコミュニケーションも楽しめます。4月から6月の金・土曜日(午後6時30分から午後7時30分)はナイトツアー(予約制)を実施します。ふだんは見ることができない海の生き物の夜の姿を観察できます。全館バリアフリーなので車いすやベビーカーでも安心して利用できます。授乳やおむつ替えのできるベビールームも完備しています。

## 八戸公園

青森県八戸市十日市字天摩 33-2 ☎0178-96-2932



## こどもの国

☎0178-96-3409  
園9:00-16:45(4月1日～11月上旬)  
※のりもの券販売は16:00まで  
園月曜日(祝日の場合は翌日)  
園のりもの券: 1枚110円、11枚つづり1,100円  
入料: 一般300円(年末年始 料金無料)

## 三八五・こども館

☎0178-96-3480 園9:00-16:30  
園月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始 園無料

## 八戸植物公園

☎0178-96-2932 園9:00-17:00  
園月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始 園無料



親子で楽しめるアトラクションが充実



毎年賑わいを見せるはちのへ公園春まつり

## 遊び方いろいろのレジャースポット 八戸市 八戸公園 (こどもの国/三八五・こども館/ 八戸植物公園)

37ヘクタールの公園の中には、ジェットコースターや観覧車などを揃えた「遊園地ゾーン」、多種多様な木や草花が見られる「緑化植物園ゾーン」、サル山や小動物に会えるコーナーがある「動物ゾーン」、バーベキューサイトのある「わんぱくゾーン」など、9つのゾーンがあり、



ネット上で跳んだり跳ねたり。室内なので雨の日でも安心

いろいろな遊び方や過ごし方ができるレジャースポットです。園内には2000本を超える桜が植えられ、八戸最大の桜の名所でもあります。「サクラの杜ゾーン」では、桜の木を取り囲むようにつくられた席で輪になってお花見ができます。4月28日(日)から5月6日(月)までは、「芝生広場ゾーン」を会場に「はちのへ公園春まつり」が開催されます。盛りだくさんのステージイベントが行われ、屋台もずらりと立ち並びます。開催時間は午前9時から午後5時までです。



世界初のイリュージョナル・モニュメント

## 二戸市シビックセンター

岩手県二戸市石切字学荷渡6-2 ☎0195-25-5411



## 福田繁雄デザイン館(2階)

園9:00-17:00 園月曜日(祝日の場合は翌日)、祝日の翌日、年末年始 園一般・高校生200円/中学生・小学生100円

## 田中館愛橋記念科学館(3階)

園9:00-17:00(入館は16:30まで)  
※工作受付時間: 9:30-11:00、13:00-16:30(材料費は50～300円)  
※サイエンスショー: 平日は1日2回、土日祝日と夏休み・冬休み中は1日3回  
園月曜日(祝日の場合は翌日)、祝日の翌日、年末年始 園一般・高校生200円/中学生・小学生100円  
※福田繁雄デザイン館・田中館愛橋記念科学館共通入館券 一般・高校生360円/中学生・小学生180円



巨大なシャボン玉に入るしかけなど、充実した体験コーナー



二戸市の偉人、田中館愛橋博士の業績を紹介

## 科学のふしぎにふれてみよう 二戸市 二戸市シビックセンター

二戸市の歴史や観光スポットなどの情報を発信する地域情報センターや、多目的に利用できるカルチャールームを備えた市民交流施設です。2階は世界的グラフィックデザイナーである福田繁雄氏の作品を常設展示しているデザイン館となっており、様々なトリックアートを見て楽しむことができます。



3階の田中館愛橋記念科学館では、光るスライムやスパーボールなどの工作体験を通じて科学を学ぶことができます。また、オーロラや真空を発生させる装置もあり、職員によるサイエンスショーも開催されます(真空装置の中に目覚まし時計を入れるとどうなるか)。ふだんは見ることができない現象を体験できるので、大人の方にも楽しんでいただけます。さらに、施設の前にある多目的広場では、親子で思い切り体を動かして遊んだり、バーベキューを楽しんだりすることもできます。



内閣総理大臣賞を受賞



高品質の木炭を丹精こめて製造しています



断面がきれいな木炭は品質が高いとされています

**お問い合わせ先**  
東北広域振興局 林務部林業振興課  
TEL.0194-53-4984

## 岩手木炭の発展に寄与し 内閣総理大臣賞を受賞



有限会社谷地林業 谷地 司氏

平成30年度農林水産祭「林産部門」で、久慈市の谷地司さんが内閣総理大臣賞を受賞しました。同部門における木炭での受賞は全国初です。谷地さんは有限会社谷地林業の製炭部長で、岩手県製炭品評会では最優秀賞8回連続受賞の実績があり、岩手県製炭技士に認定されています。また、「岩手木炭」を若い世代に引き継ぐため、地元の中学生や仙台の学生に対する体験学習の実施や、「いわて林業アカデミー」の講師を担うなど、製炭の指導や炭焼き文化の継承にも力を入れています。これらの活動が評価され、今回の受賞となりました。



昨年10月には、東北の認定企業4社に認定書を交付（左から、プレステック株式会社、株式会社ナカイズミ野田工場、岩手モリヤ株式会社、株式会社岩本電機）

制度の詳細や認定企業など、詳しくは「岩手県 女性活躍」でご検索ください。

**お問い合わせ先** 東北広域振興局 経営企画部企画推進課 TEL.0194-53-4981  
二戸地域振興センター 地域振興課 TEL.0195-23-9201

東北広域振興局では、女性の就労比率が高いアパレルや食産業などが基幹産業となっている地域の特徴を踏まえ、「いわて女性活躍企業等認定制度」及び「いわて子育てにやさしい企業等認証」の活用・認定を通じて、女性活躍や子育て支援に力を入れています。同制度の普及により、女性活躍や仕事と子育ての両立支援、企業の人材確保、地元定着等を促進し、「働くなら東北 育てるなら東北 暮らすなら東北」のふるさと振興や地域の幸福につながることを目指しています。

久慈市の宮城建設株式会社は、昨年8月、東北地域で初めて「いわて女性活躍企業等」に認定されました。企画経理部の久保田文字さんは「現場で管理者を務める女性社員の数はまだ少ないので、環境整備を進めて、雇用の裾野を広げたいです」と女性の活躍に期待します。

その後、東北地域では、「いわて女性活躍企業等認定」に17社、「いわて子育てにやさしい企業等認証」に15社（平成31年1月末現在）が選ばれており、女性活躍や子育て支援の職場環境づくりが着実に広がっています。

## 女性活躍・子育て企業を認定して 東北地域の幸福を実現

九戸政実武将隊の勇ましい姿



様々な展示で九戸城の魅力を発信しました

**お問い合わせ先**  
二戸地域振興センター 地域振興課  
交流連携グループ  
TEL.0195-23-9201



九戸政実武将隊 PR動画

九戸城ブースにも多くの見学者が訪れました。回収したアンケートには57%の人が「九戸政実を知っている」と回答し、「九戸城に行ってみた」という感想も寄せられました。今回が初めての出展でしたが、来年以降も継続して参加し、九戸城や九戸政実を通して二戸地域の認知度向上、観光客の誘致を図っていきます。



東北地域の企業などから160名が参加



地域未来投資促進法紹介ガイドブック（東北・沿岸版）を発行しました

**お問い合わせ先**  
東北広域振興局 経営企画部産業振興室  
TEL.0194-53-4981



株式会社ひろの屋（洋野町）代表取締役 下学 坪 典氏



株式会社南部美人（二戸市）代表取締役社長 久慈 浩介氏

地域の特性を生かして新たな成長分野に挑戦する企業を支援する「地域未来投資促進法」が平成29年7月に施行されたことを踏まえ、同法の概要や支援制度を東北地域の企業に知ってもらい、活用を促進するための「北いわて地域未来牽引サミット」が1月に久慈市で開催されました。

東北経済産業局や岩手県による制度説明に続き、事例紹介として二戸市の株式会社南部美人、洋野町の株式会社ひろの屋、秋田県横手市の株式会社アスターの各社長が登場し、地域資源を活用した事業活動や支援内容について、地域への思いや今後の夢を交えて発表しました。参加者は、同法があらゆる事業分野で活用可能なことや、地域を牽引する企業による地域活性化の取組に関心を寄せている様子でした。

## 地域を牽引する企業を 様々な支援で後押し

## 東北広域 トピックス 2019

# 復興に取り組みながら、お互いに 幸福を守り育てる希望郷いわて

## おでかけi-サポを 東北地域で定期的に開催



1対1の出会いの機会づくりを支援します（写真はモデルによるイメージ画像）



リーフレットはホームページでもダウンロードできます

おでかけi-サポ ホームページ

**お問い合わせ先・申込先**  
久慈地域 i-サポ宮古 TEL.0193-65-7222  
開所時間／平日 10:00～19:00、  
土日 9:00～18:00  
休日／火曜、祝日、お盆、年末年始  
二戸地域 i-サポ盛岡 TEL.019-601-9955  
開所時間／平日 10:00～19:00、  
土日 9:00～18:00  
休日／祝日、お盆、年末年始

**お問い合わせ先**  
東北広域振興局 保健福祉環境部企画管理課  
TEL.0194-53-4987

県では、市町村や関係団体と連携して、結婚を望む男女に出会いの機会を提供する「i-サポ（いきいき岩手 結婚サポートセンター）」を運営しています。東北地域では「おでかけi-サポ」を実施しています。久慈市では「中央市民センター」、二戸市では「なにかーと」でそれぞれ月2回開設され、会員登録・お相手検索・お見合いなど、i-サポが行う全てのサービスを受けられます。会員数は、現在、約1000名となっており、20歳以上の独身の方なら、どなたでも入会できます。市町村によっては、入会登録料の補助も行われています。

i-サポでは、個人情報など利用者の秘密は厳重に守られます。お気軽にお問い合わせください。御利用は予約制です。事前の電話連絡が必要です。

東北地域では地域の特性を生かしながら、農林水産業や企業の支援、まちづくりの活動など、魅力あるふるさとを創造していくため、現在策定中の「いわて県民計画（2019～2028）地域振興プラン」に基づく取組を進めることとしています。



## 久慈地域の畜産業を 地域ぐるみで盛り上げる

久慈地域では畜産が基幹産業です。なかでも養豚は年間16万頭を出荷し、県内2番目の産地となっています。

洋野町では、養豚経営体の八幡平ポークグループを中心に、地域の関係事業者や行政が一体となり、収益力と生産基盤の強化、耕畜連携、食育活動に取り組んでいます。昨年は、学校給食への食材提供にあわせて、農場担当者が豚の一生や豚肉の栄養などの授業を行いました。

1月には、密閉方式の堆肥化や排水の浄化処理など、環境に配慮したシステムを採用した、母豚1500頭規模の新農場が完成しました。この農場では年間4万頭の出荷を目指しており、更なる収益向上が見込まれます。また、雇用の創出により地域への若者の定着が期待されます。



食育活動を通して子どもたちに地元の味を伝えます



1月に完成したばかりの肉豚舎

**お問い合わせ先**  
東北広域振興局 農政部農業振興課 TEL.0194-53-4983